

甲佐町議会だより



清流

第 96 号

平成13年 5月15日



町の元気は、人の元気から。
産業の後継者を紹介します。

堀田兄弟の
兄・高志さんは、平成12年から就業
弟・陽平さんは、平成10年に就業

農業予算

用地の確保は大丈夫か

庁舎建築基金 目標7億円

宮内の水道計画を聞く

町村合併の問題多いはず

社会体育クラブの導入を乞う

一般質問
7人

8P
)

5P
3P

推進の苦勞を評価

町長

交付税が一億円減少する

三月定例議会は3月9日から21日までの13日間の会

期で開かれ、12年度の補正予算案、条例案、13年度の

予算案など町長が提案した21件の議案を慎重に審議し、

すべてを議決して終了しました。

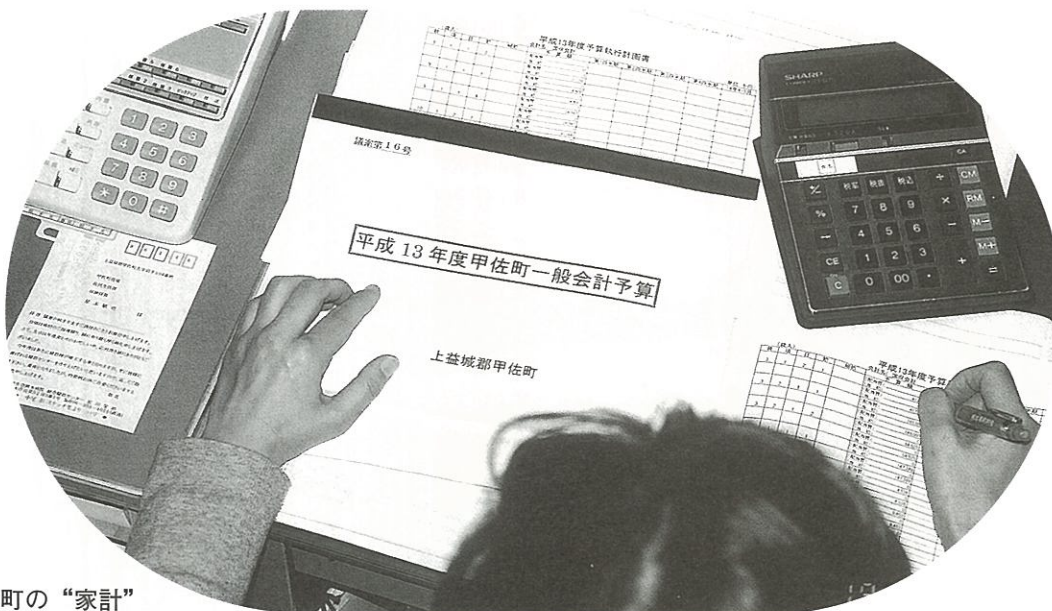
この内、ここでは新年度予算を議会が承認した経緯を紹介します。

新年度予算の細かな内容は、町の広報紙「広報こうさ4月号」に掲載がありますので、本紙は省略しました。

今度の議会での焦点はなんといいても、どのような内容の13年度の新予算案を

町長が提案するかでした。

町長は、町の基本構想や基本計画の趣旨を十分視野



町の“家計”を示す予算書

議会

生活重視型の 予算執行を望む

こうした予算に対して、議会の審議では多くの質疑が展開されました。

質疑内容の要旨は、4～7ページの「QアンドA」で紹介していますので、必読ください。

に入れ、安全、健康、福祉の三つを柱にし、少子高齢化、多様化する住民ニーズ等に対応する為に、すべての事業を見直し、真に住民福祉の向上につながるよう予算を編成したと説明しました。

また、これをまかなう財源は、地方交付税が大幅に1億円減少するほか、県支

出金の減少の影響などで財源が不足する。

これを補うため、町の積立金を2億7000万円取り崩すが、それでも不足するので、臨時の財源対策債として8000万円の借金を起こし、収入と支出のバランスの調整を行ったと言

審議の結果、町長が提案した予算は、財源不足に対する苦勞と、基本計画等の事業推進との整合性を合わせた苦勞の両方がうかがい知れると評価し、予算はこれで良いとしました。その上で、今後は町民の生活重視型の行政を目指した予算の執行を行い、最小の経費で最大の効果を上げることが望むという意見を添えて、原案通り議決しました。

農業予算

国の予算を取り込んだ

新年度予算のうち、農業分野の社会資本の整備に焦点を当ててみました。
 本町の基幹産業・農業の予算については、国が行うウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策予算を、本町は最大限活用しています。
 国の予算にお付き合いするだけの財政体力が町側にあったことも、議会の評価点と言えます。

新年度予算

事業

ガット、ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策予算の実施

地区名	事業名	担当	内 容	13年度概算事業費	町の予算(概算負担額)	備考
甲佐町	広域農道	県	益城町、御船町、甲佐町のルート上の農道	6億円	900万円	
甲佐町	農免農道	県	船津～中央町の農道	6,000万円	300万円	
旧・甲佐	地域用水環境整備	県	甲佐小学校敷地内の親水学習公園	8,000万円	2,000万円	
田口	農道整備	町	延長1,300m程度	3,000万円	900万円	
糸田	幹線水路の整備	県	側壁・路盤の漏水防止	3,000万円	100万円	
上早川(大峯)	農道整備	県	延長1,300m程度	6,700万円	1,300万円	
東寒野	農道整備	県	延長600m程度	4,000万円	600万円	
船津	農道整備	県	延長690m程度	4,300万円	600万円	
船津	農道整備	県	延長540m程度	未定	未定	※
下豊内	農道整備	県	延長1,300m程度	未定	未定	※
南三箇	農道整備	県	延長320m程度	未定	未定	※
上早川	農道整備	県	延長310m程度	未定	未定	※
麻生原	農道整備	県	延長230m程度	未定	未定	※
大町	集落道路	県	延長180m程度	未定	未定	※
上早川(田代)	ため池整備	県	堤の改修	未定	未定	※

用地の確保は大丈夫か

※印の事業は、用地の問題や国の予算の都合では、今年度の着工が出来ない場合があります。と耕地課では危ぶんでいます。

ただ、このウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策予算は、平成14年度までに期限を限定された国の予算ですから、いつまでも続くものではありません。用地の問題などをもたつくと、計画倒れになり兼ねます。課題があれば、早めに解決する工夫や努力が町や地元にも多く残されているようです。

解説

ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策予算

ガット「ウルグアイ・ラウンド」では、農業交渉の結果、米を除いて輸入数量制限等を行っていたすべての農産物についての関税化を我が国は受け入れ、これによって農産物の輸入が自由化されました。(米については加重されたミニマム・アクセスの受け入れで合意)

しかしこの同意では、我が国の農業・農村が大打撃を被ることが明白であったために、政府はこの対策に迫られました。そうして出来たのが「ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策予算」。
 国全体の総事業費は、6兆100億円規模。

これだけは 聞いておきたい

3月議会の補正予算および平成13年度の新年度予算。
この審議の内容を要約してお知らせします。

論 点

Q & A



こうした介護保険サービスの拠点作りは必要（桜の丘での一コマ）

乙女小が介護拠点になる

Q

今回の補正予算の中に介護予防拠点整備事業というのがあるが、どういった内容のものか？

A

乙女小学校の別棟2階建ての空き教室を利用して、デイサービス等の事業を行う拠点整備を考えている。

Q

現在の空き教室を利用するという事だが、将来また教室を再編するということは考えられないか？

A

乙女小学校は、現在1学年を除いては1クラスになってきている。今後、急に児童数が増えることは無いと予測している。この施設を利用することによって、学校とお年寄りとの交流事業も行えるということも期待をしている。

産地間競争に 町の助成を！

Q

農業振興の立場から生産地指定には、国、県、経済連から助成があると聞いているが、それには九州の市場をめぐる今後、産地間競争が繰り広げられると考えられる。町の助成についても検討をお願いしたい。

A

野菜の価格安定事業については掛け金が必要になる。特定野菜関係になると国が33・3%、県が20%、経済連が20%、生産者が26・7%の負担割合となる。現在、農業者は輸入野菜等の関係で野菜の価格低迷に苦労されているので、できる限りの助成は考えていきたい。



甲佐中学校のBCG接種の一コマ、一般住民健診とは異種の健診だが、健康管理の目的は同じ

国保医療費

高騰に歯止め?!

Q 国民健康保険の療養給付費については、減少傾向にある。どういった要因であると判断しているか？

A 一般被保険者の療養給付費は、一昨年から減少傾向にあり、高額医療費も大きく減ってきた。

この背景には各行政区に出かけての健診等により人間ドックの受診者が増えたことや、ここ数年の保健事業の取組で町民の健康に対する意識が高まったことなどが考えられる。

Q 保健福祉センターが完成して、施設の利活用で本町の医療費にどう影響をおよぼしたか。

A 健康作りを目的とした健診は、方法をこれまでとは違って日赤健康センターの協力を得て、健診車を5台利用して健診を受けやすいようにした。その結果、前年度に比較して1000件受診者が増加した。

統計によると健診の受診者と未受診者とは、年間の医療費に相当の差があり、受診者で病院の治療を受けた方が一人当たり年間12万5317円に対し、未受診者は23万9349円かかっている。

安津橋のグラウンド・ゴルフ場

管理棟を建設



9月から安津橋でのプレーが楽しめるグラウンド・ゴルフ

Q 安津橋健康広場の整備委託料が400万円計上されているがどういった内容か。

A 昨年度にグラウンドゴルフ場を造成し、今年度で料金徴収や休憩所を兼ねた管理棟を建設する予定である。そのための現地測量の委託料と管理棟の建設の監理委託料である。

庁舎建築基金

今年度目標7億円に!

Q 庁舎建築基金に1143万円を予算化しているが、最終的には、どの程度の金額になるのか？

A 平成12年度の最終補正で4000万円を追加した。これに建築基金条例に基づき1000万円を更に加えると、これまでの5億9500万円が6億4500万円に膨らむ。更に、13年度では基金条例による1000万円と、12年度の最終専決処分での剰余金と併せて最終的には7億円に近い数字を考えている。

乳幼児医療費の一時立替え 利便性を図れ!

病院で診察を受ける幼児



Q

乳幼児医療費無料化が4歳未満児から5歳未満児へと引き上げられるが、保護者は医療費を一時立替払いして、後で町に請求する形をとっている。今は共働きの家庭も多く、そのような点で立替せずとも済む方法は取れないのか。

A

この制度については県の事業との関係もあり、窓口払いについては望ましくなくという県の指導があつてゐる。また病院側との事前協議も必要になる。今後、保護者の利便、医師会との方法論を研究していきたい。

宝くじ助成事業

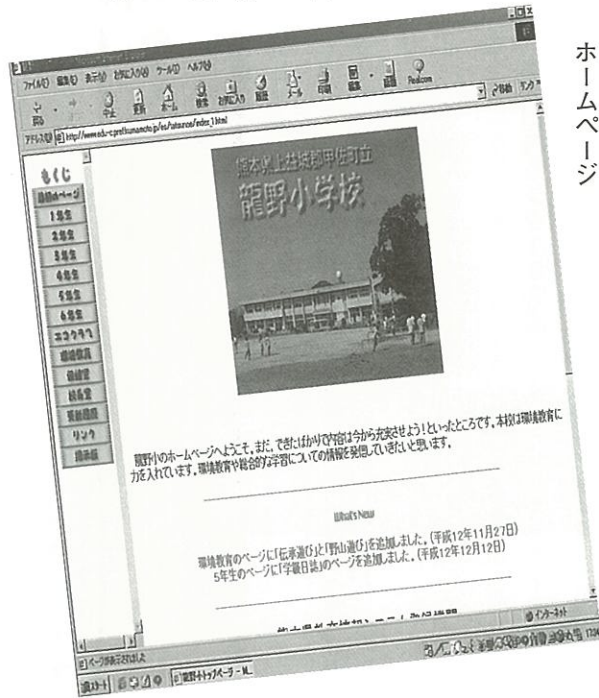
南三箇の集會施設

Q

コミュニティ助成事業補助金の、本年度の内容を知りたい。

A

補助金は、250万円計上している。これは例年宝くじの売上の助成金を利活用しながら、県を窓口にした額の補助を行っているもので、今回は南三箇の集會施設を予定している。



龍野小学校のホームページ

情報公開に向けた文書管理

Q

文書管理改善計画作成調査委託料の内容を知りたい。

A

平成13年度から情報公開制度の導入準備をする予定である。この制度が導入されると公開の対象となる行

ホームページ作成に着手

Q

本町のインターネットのホームページ開設はいつ行うのか。その内容の構想はどう考えているのか?

龍野小学校と給食センター

ターでは、すでに、ホームページを開設しており、今後商工会青年部でも開設を計画してある。町と各関係団体とのリンクについても検討を望む。

産廃施設 引続き反対 県に表明!

Q

上豊内地区の産業廃棄物処理施設建設の進出についてその後、状況はどうなっているのか?

A

現在のところ、何ら動きはあつてゐない。県庁に出かけたときは必ず廃棄物対策課に聴取に行き建設絶対反対の意思表示を行っている。また工業振興課においても同様の内容を伝えている。



教材を活用した小学校の授業風景

教科書の採用 どうで行うか

Q 国の外交上の問題で教科書検定が問題となっている。教科書の採択権限は、市町村または都道府県の教育委員会が握っていると聞く。

しかし実情を考えてみた場合、現場の教職員の考えで教科書選定が行われているのではないかと思う。実際、本町の場合はどういったシステムになっているのか。

A 教科書の採択権は、市町村の教育委員会にある。熊本市や八代市等には指導主事を設けているが、一般の市町村には設けてないので、

上益城教育事務所の教科指導主事5・6人の方々と協議をしながら最終的な教科書採択にむけた作業を行う。その後、学校長・教育長を交えた選定委員会で協議をし審議会にはかるといった順序で教科書の選定が行われる。

部落運営交付金

減額に理解を

Q 町から各行政区へ交付する助成金が昨年に比べて減額されているが、各行政区の運営においては区費を値上げするか、事業等を減らしたりしないと運営が難しいという声も聞く。また2・3の区長さんにお聞きすると交付金を減らさずに嘱託員手当てを逆に減らして欲しいという意見もあったが、こういった内容になっているか？

A この交付金算定は基本額と、人口割と、世帯割の合計によって算出される。今回、財政上の事も考慮し計算上1世帯あたりの交付金を従来の30000円を25000円に減額させていた。ただし区長さん方には、郡内の各町村の状況に照らして本町が突出して多い状況も説明し相談申し上げ、やむなしとのご了解をいただいている。

水辺交流事業

今後、国土交通省と協議！

Q 水辺の交流拠点事業において今年度の当初予算では千円の存目処置にとどめてあるが、今後何らかの形でアクションがあるかと思う。どのような内容になっているのか。

A 今回、水辺プラザの策定委託料を存目として計上している。その背景には国土交通省との協議の中で1、2の協議事項の詰めが残っており、その関係で事業の登録が少し遅れている。今年の秋頃にはその登録も出来るかと思われるので、その時期に国の進捗状況にあわせ補正予算で対応したい。

人材育成に

1000万円を活用

Q 本町の中にも将来を背負っていく、広い分野における優秀な人材を育成する必要がある。今必要だと創生回ふるさと創生事業費の中の人材育成基金が、そういったことにつながると思うがどういった内容か。

A 昨年、「東京甲佐会」から1000万円、また一般の方から10万円の寄付をいただいた。それを基金として運用利息を積立したものである。人材育成基金条例が昨年条理化されたが、まだ今のところ申し込みもあっていない状況なので、今後PRもやっていきたい。



高齢者大学の開講式

高木英吉議員

老人の生きがい対策は十分か

このページは、一般質問の紹介です。

高木議員

老人の生きがい対策には、
どういふものがあるか。

社会教育課長

公民館活動では、陶芸教室などの高齢者大学を30講座設けており、参加者は65歳以上の方が半数以上だ。ほかには、小学校の伝承遊

高木議員

世の中には、日常生活で困っている人もいるかと思う。そのような立場の人に対する施策を考えないか。

健康福祉課長

母子家庭や障害者の方々の場合には、医療費扶助や児童扶養手当の支給などの制度事業を行っている。

高木議員

男女共同参画社会の中で、母子家庭には手当の支給があつて、なぜ、父子家庭はないのか。

町長

調査して、検討する。

び等のご指導をいただいている。

高木議員

「心の会」は、福祉の増進や活動を促進して、お互いに助け合うことが目的のようだが、どうか。

町長

昨年4月に発足したもので、日常生活の中の、屋根の修理、庭の剪定作業などのボランティアという形の活動である。

高木議員

今後、定年退職者などが増えるので、シルバー人材センターを作らないか。

町長

今後、前向きに努力したい。

高木議員

県内での状況は分かるか。

健康福祉課長

6つの町村では、父子家庭に対する医療費補助が行われているようだ。



宮内地域は慢性の水不足

宮内の水道計画を聞く

高木議員

水道の老朽管、石綿管の取り替えの予算を打出して、国の景気対策事業をいち早く取り入れたようだが、実施計画はどうか。

環境衛生課長

12年度から16年度までに、2億5000万円かけて石綿管の更新事業を行う。

高木議員

宮内地区の水道事業計画が過疎計画の中では掲げられているのに、新年度予算にはない。なぜか。

環境衛生課長

新年度予算に300万円の調査費を得た。宮内地区は、花崗岩や石灰岩の地質であり、安定的な地下水の確保を調査する。

町村合併の議論

あゆみ
17のまち

問題は多いはずだ

山内
勲議員

県が示した合併パターン（一部分）			
合併パターン	構成	人口(人)	面積(km ²)
御船町、嘉島町、益城町、甲佐町	4 町	71,621	239
矢部町、清和村	1 町 1 村	16,999	425
豊野町、中央町、砥用町	3 町	18,944	175
宇土市、城南町、富合町	1 市 2 町	64,970	130



3月、9人の退職者があり、内5人は課長級だった

山内議員
町村合併について国は財政の優遇策で、17年度までの合併パターンを作っている。

上益城郡内の動向はどうか。
町長
全国の町村会では去る2月、合併は住民サイドで進めるべきと意見をまとめた。本町でも、住民合意の合併を進めなければならない。県は合併パターンで、甲佐・御船・嘉島・益城の4

町の合併がふさわしいと示している。
山内議員
私は「合併ありき」の考えではない。しかし、県の財源に頼っている本町では財源確保に問題が多いと予想される。町長の心境はどうか。

町長
国は17年度までに合併するところへは交付税を4億円程度増額し、しないとこのころには逆に、25%削減するという。
心情的には、大変憂慮している。
今後は本格的な議論を要する。

行政改革の
実現には

リーダーシップが必要

山内議員

増大する行政需要に対して、現在の行政基盤、手法では十分な対応が出来ないので、15年度までの行政改革をまとめてあるが、その進捗状況を聞く。
まず、長期的な補助金の見直しはどうか。
総務課長
件数では25件。金額では834万円減少した。今後とも長期的な継続補助金は見直しを続けていく。

総務課長

5・5%減少した。

山内議員

町税の徴収率の向上はどうか。また、町の財産の適性管理は、どうか。
総務課長
税金等の徴収率は、下降している。また、昨年、遊休財産を処分して253万円の収入があった。不用の財産は処分していく。

総務課長

この3月の職員数は定数164人に対して、現員が156人である。これが4月には9人の退職者と、補充者の都合で148人になる。
15年度の145人体制の目標実現に努力する。

山内議員

それぞれ立派な計画だが、改革の実現には困難性が伴う。我が身を削る思いで、町長はリーダーシップを発揮すべきだ。
町長
計画を掲げた以上は、信念を持って進めていきたい。

山内議員

一般事務費はどうか。

このページは、一般質問の紹介です。



清正公山公園前の三差路

田上益男議員

町の活性化の条件

道路網の整備だ

このページは、一般質問の紹介です。

高校横

田上議員

10年間手付かず

県道・稲生野甲佐線では、高校横の改良のこ
と。十年前に、
県は測量杭まで
打っているが、
その後はまったく
手付かずの状
況。小・中・高
校生の通学道路
なのに狭い。交
通量も多いので
危険が大きい。
町としての調
整や、県への陳
情具合はどうか。
町長
矢部土木に要
望している。

高校前のカーブ

田上議員

危険個所だ

国道443号
では、JA甲佐
給油所から高校
までの区間にお
いて、緩やかな
カーブで見通し
が悪い。
途中に岩下本
通りからの農道
が接続するし、
県道・稲生野甲
佐線も交差して
いる大変な危険
個所だ。早急な
改良が望まれる
が、どうか。
町長
同じく、矢部
土木に要望して
いる。
町長
直ちに調査し、県に改善
を要望する。

清正公山公園前

優先順位が見にくい

田上議員

JA甲佐給油所横から清
正公山公園の鳥居方面に抜
ける町道は、鳥居下を大き
く回る県道と接続している。
この交差点が曲者で、優先
道路を勘違いする人が多い。
分かりにくいのは、標識や
停止線も見にくいし、消え
かかっているせいもある。
優先順位を改める道路標
識を建てるか、または、今
のを見やすくするか、どち
らかだ。
町長

御船からのアクセス

道路やトンネルの改良が必要

田上議員
御船I・Cからの
四車線道路を、御船
トンネルまでに伸ば
して欲しい。
また、御船トンネ
ルの拡幅か、または、
平行トンネルの設置
を要望する必要があるが、
どうか。
町長
御船地内の四車線道路
は、御船町が一生懸命
やっている。トンネルの
件は上益城地域振興局に
要望してきている。

サエラ前

歩道がない

田上議員
唐津整備工場
前からサエラま
では、国道なの
に歩道がない。
町長
早急に歩道を設置してもら
いたいのが、地元の願いだ。
町長
県に設置を要望している。

事業投資

結果が生かされていない

本田昭一議員

本田議員

隣の佐俣の湯では、昨年度に4000万から5000万円の余剰金が、町へ繰り入れられたとのこと。目的は違うが、本町での津志田公園への投資状況はどうか。

企画振興課長

ふるさと創生資金、県の補助金、町の財源など多額の資金を投入した。

本田議員

この公園整備事業が、町にどれだけ見返りがあっていくか。

町長

金額には換算できない部分で、本町のPRには役立っている。

今後計画している対岸の水辺プラザ事業とつなげて活性化を考える。

本田議員

公園の利用料金は、徴収しないのか。

町長

料金を徴収するには、徴収する場所のこと、人のことが課題となる。機械での

徴収も考えた。料金徴収の為の投資と効果を測ると、それぞれ課題が多い。

本田議員

創意と工夫を凝らす姿勢はいいことだ。

本田議員

川平キャンプ場の利用状況と利用料金はどうか。社会教育課長

年間70万円の収入見込みを立てていたが、計画どおりではない。

町長

機能の面で誤算があった。県から護岸工事の整備を受けて、町でも追加整備を行うので、今後は利用が増えるの見込んでいます。

本田議員

利用者が少ないのは、PR不足にあると思うので、PRを図るべきだ。

本田議員

岩下益城橋線の整備は、これまで、町の事業でやっ

てきたが、これからの工事区間が山場になる。町長は

県の代行業業にするといっ

ていたが、本当に出来るのか。

町長

県のほうでも心配をして

本田議員

町長の努力は分かるが、不可能ではないか。

町長

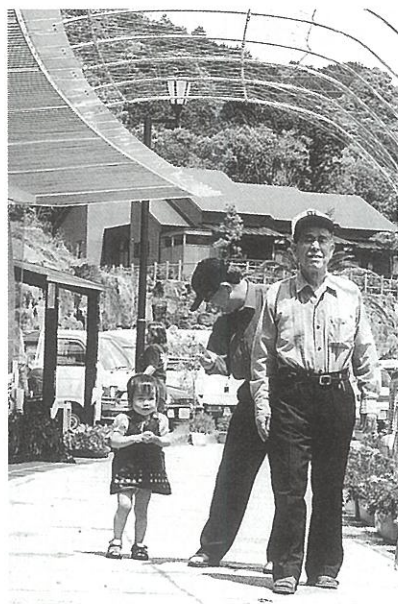
努力する。

本田議員

山上幹線道路がそろそろ完成の時期となりつつある。少年の森などで、付加価値をつける等という今後の計画はないのか。

町長

多額の投資を行った道路なので、これを今後に活かしたい。101の景観づくりの候補に取り入れる計画が進んでいる。



湯の佐俣町の中央をみぎわに

消防車が進入できない道路がある

本田議員

火事するとき、消防車が進入できない道路がある。こういうのは、道路といえない。

町長

消防団では、自動車が進入できない道路に備えて、連結での消火作戦を訓練されているが、指摘の箇所は調査したい。

工事業者の判定を聞く

助役

町では、資格審査会を設け、そこで個々の業者の格付けを行っている。

この審査で、AからEまでの格付けが決まり、入札の参加資格が決まる。

助役

審査会において判断したい。

本田議員

建設業者は多数いるが、指名は常に公平か。

このページは、一般質問の紹介です。



安津橋下流の、オープン間近なグラウンド・ゴルフ場

北畑常博議員

住環境の整備が必要

このページは、一般質問の紹介です。

北畑議員

安津橋の下流に、立派な公園が出来た。この際、上流の河川敷に、たとえば牛相撲を作る等して、人が集まる施設を考えないか。また、公園の管理費を払わずに済むよう、団体に貸し出したらどうか。

町長

今の指摘はよく頭に入れて、政策の参考にしたい。

北畑議員

道路予算は、他町村では予算が減少しているのに、本町では減っていない。執行部のお陰だが、今後はどうか。

町長

道路行政は生活に欠くことのないものがあるから、頭を使っているが、今後も政策に力をいれたい。

教育長に聞く

北畑議員

教育長は町のリーダーとして、指導や教育を行うべきだ。土作り、人作りを行って、立派な子どもを育てるのが、まちづくりではないか。

教育長

児童・生徒への指導で問題があったときは、学校と一緒に保母者と会い、子どもの立派な発達を願って話し合いを続けたい。

北畑議員

今までの3年間、中・高一貫教育について質してきたが、さっぱり進歩がない。昨年、県の一貫教育についての重要な会議さえも出席していない。これは何故か。

町長

昨年の会議は、12月の議会で中だったので、教育長が出席できなかった。

教育長

今後は、重要な会議には代理を派遣するよう対処する。

町村合併の前に

北畑議員

町村合併が今叫ばれているが、合併する前に財政の力をつけるのが、先決問題ではないか。また、全国的に苦しい財政の中で、我が町のここ3年間の財

政計画や財政見直しについてのシステムはどうか。

町長

現在の本町は、必要経費が多すぎて、投資にまわす財源が乏しいのが現状だ。今後、これまでの慣例にとらわれずに「政策評価」システムを活用し、充実した健全財政の執行を踏まえた

そのためにも行政改革を進める一方で、人口増加を図りたい。

助役

自主財源の確保は、必須条件だ。そのためには、定住促進の要綱を作った。これは、本町に転居して住宅を造った人に一定の金額を助成する政策で、人口増を狙っている。

財力作りが先決問題だ

農業後継者対策

月額15万円を支給してはどうか

佐藤義郎議員

佐藤議員

今日の日本の農業は、危機的な状況にある。貿易の自由化の元に、主食の米も輸入している。その結果、米の自給率は40%以下の状況だ。

政府に対して、議会は、緊急輸入制限措置の要請も決議した。

農業政策の転換を求めていく必要がある。

町長

農業は、国策として進められた。国際化のもとに、輸入により大変農家の経営を圧迫している。

緊急輸入制限措置の発動は難しいのではないかと判断する。

残るは、所得補償だが、これについては国に意見を述べるなどして、農業の自立に向けて生産組合への支援を進めたい。

佐藤議員

今の農業を支えているのは高齢者であり、40年前に比べて就業人口は4割以下になっている。

後継者対策として、青年に3年間月額15万円を支給する制度を確立したらどうか。

1年に1人か2人の青年の育成の為だ。

町長

確かに、農業に希望が持てる政策は必要。

後継者対策を考えてみたい。

佐藤議員

町独自で農産物を奨励し、そして一定価格の補償制度を確立している町もある。

本町でも、町をあげて直販体制の一步を踏み出す必要があると思うが、どうか。

町長

今後の考え方の参考にしたい。

佐藤議員

今の福祉の一番の問題は、少子化と高齢化対策にある。若い世代が安心して子育てが出来る手法が必要だ。

これまで町長と私が、政策を戦わしてきた6歳児までの医療費の無料化は、これを更に進めて小学生まで直ちに実施に移すべきだ。

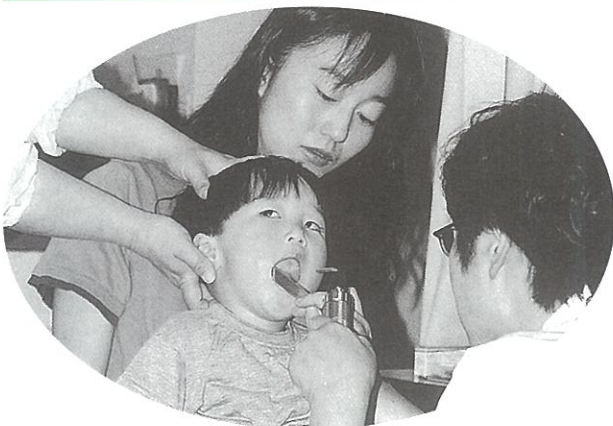
町長

今の5歳児未満までの医療費の無料化は、来年度までに就学前の児童までに拡大する。



特産品ニラの出荷準備作業

医療費の無料化 小学生まで上げないか



乳幼児の診察シーン

このページは、一般質問の紹介です。

社会体育クラブの導入を乞う

本田
新議員



中学校のクラブ活動の一コマ

大多数の子どもたちは、クラブ活動を希望すると思われるが、受け皿の整備はどうか。

教育長

世の中の傾向は、社会体育への移行が大きな流れだ。本町の地理、地形、距離などと、子どもたちの参加体系などについて、今研究を進めている。

また、学校側には、社会体育といえども重大な関心を持つように要請したい。

本田議員

総合型地域スポーツクラブとは、どういうものか。

社会教育課長

会員制のクラブであり、種目も個人の自由。子どもたちからお年寄りまでの幅広い階層で一緒に楽しめる。参加資格に制限はない。

文部科学省が進めている。

本田議員

すべての住民が、自由に参加できる。しかも、土曜、日曜に関係なく、公共の施設が利用できるということだが、問題は、施設の不足と思う。

施設等の整備を含めて、導入の研究を願いたい。

このページは、一般質問の紹介です。

減反政策の中身を知りたい

本田議員

減反政策に町長はどう考えるか。

町長

国の政策であって、やむを得ないので、対策として農家への支援を考えていくべきと思う。

本田議員

今年の減反政策の中身を知りたい。

農政課長

今年の割り当て面積は、

330ヘクタール。

これに、拡大分の5ヘクタールとプラスして需給調整分の15ヘクタールがあつて、全体では350ヘクタールになる。転作率は42%。

本田議員

青刈りと、その補償金はどうか。

農政課長

8月15日時点の、米の作況指数で決められる。

本田議員

拡大分の5ヘクタールは、することになっている。酪農家にこの分をお願いすることになっている。補償金が計算しやすいから。

農政課長

入札制度

価格の公表は良か否か

本田議員

工事入札にあたっては、本年度から事前に価格が公表されると聞く。これに至った経緯を知りたい。

助役

国内の情報公開の要求の流れの中で、入札にあつての透明性や契約の公平性を本町でも取り入れるものである。

ただし、入札のあり方がこれに落ち着くというものではなくて、1年間の試行であり、1年後には価格の公表がいいのか悪いのかを見直す。

本田議員

入札にあつての価格の公表のメリット、デメリットを知りたい。

助役

入札しての残金（入札残）が高止まりかどうかは、結果を見ないとわからない。それで検討する。

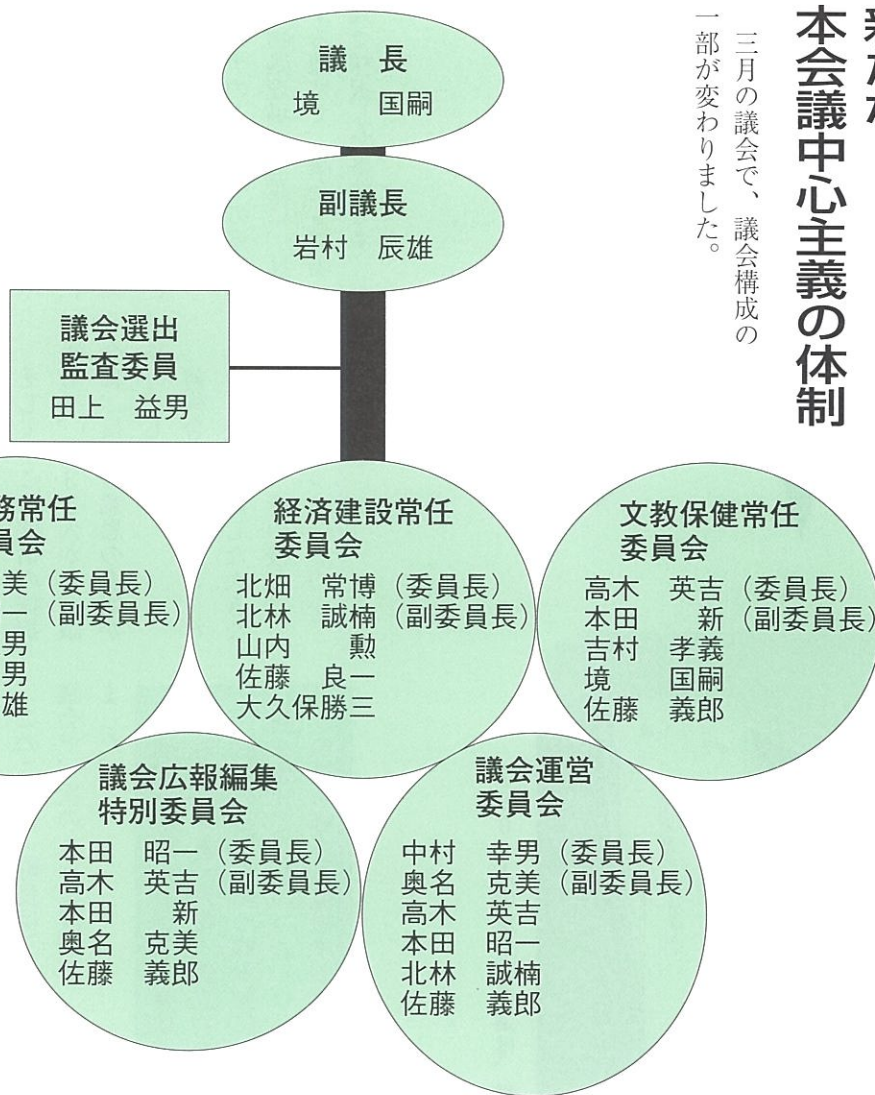
本田議員

入札しての残金（入札残）が高止まりかどうかは、結果を見ないとわからない。それで検討する。

議会構成が変わりました

新たな 本会議中心主義の体制

三月の議会で、議会構成の一部が変わりました。



議会には、議決権、検査権、調査権などいくつかの権限があります。これらの権限を持つ議会の代表者が議長と副議長。

また、議会の審議を分担したり、予備的審査を行うために常任委員会があります。常任委員会の開催は議会の会期中が原則ですが、議会の議決で閉会中も調査等が行われる場合もあります。

なお、本町の議会審議は、本会議中心主義であり、委員会中心主義を取っていません。

私のエッセー

ウグイスの候

ご機嫌如何ですか。

ウグイスは春告げ鳥とも言われ、二月下旬頃ともなるとその鳴き声があちらこちらから聞こえてくる。その美声からつけられた言葉に女性アナウンサーのことを「ウグイス嬢」とも言う。ウグイスの鳴き声を聞いて気づいたことだが、その鳴き方、鳴き声が一羽一羽違っているのだ。聞きなれているつもり「ホーホケキヨ」ときれいな発音をしているウグイスはなかなかいない。我が家の前でいつも鳴いているウグイスも「ホーホケキヨ」と念入りでさえずる。これもウグイスの個性であろうが、「ホーホケキヨ」と鳴くのは雄のウグイスで、もちろん求愛のためのさえずりである訳だから、雌のウグイスにとっては雄の鳴き声はパートナーの判断材料ともなる。「ウグイスの谷渡り」と言う言葉もあるが、ウグイスのテリトリーはせいぜい谷二つ分位であろう。「ウグイス色」という色もあるが、実際はメジロ色の方が似合っていると思う。ウグイスの色は深緑で灰色がかっていてけつして美しい色とは言えないが、名前の存在感は大きなものがある。そういえば昨日「ウグイス餅」を食べた。ふつうのあんこ入り和菓子だが、ただ色が緑色をしているだけでウグイス餅とはやはり名前の響きがいからだろう。

役場庁舎の二階を歩くと、「ウグイス張り」の廊下が迎えてくれる。これを後世に残す訳にはいかないが、「ホーホケキヨ」の鳴き声がいままで続くのどかなふる里は後世に残していきたいものだ。

(K・S)



随想

廃棄物処理場

今後とも注視していく

昨年6月。議会の会期中に上豊内の皆さんを中心にした268人から、議会に直接、住民の意思を示した出来事がありました。

そして、この陳情の採択後も7、532人から、議会に、反対の意思の表明がありました。

このことに、町長は三月議会でも用心が肝要と、次のように説明しました。

建設を目論んでいる業者は、住民7、800人の反対署名があつた後、表立った動きを見せていない。許可の権限を持つ熊本県に対しても、その後の進展を見せていない。今後とも動きを監視する。

議会でも用心が肝要という気持ちがいまも漂っています。

その後

追跡



7800人の反対署名簿は、議会の重要保存書類

改善は今後に残されている

審査指摘への取り組み

昨年12月の議会。決算を審議しましたが、この時議会から、予算や決算に対する意見が出されていました。こうした意見に対しては当然に、新年度予算でそれぞれ配慮が為されなければいけません。これに対して総務課長は、三月議会で「12項目の全部は出来なかつたが」と、前置きして次のように答弁しました。

- ① 公共用地取得対策、収納率の向上対策、指定金融機関の指定の事項は、13年度に行動を起こす。
- ② 不法投棄対策は昨年度から行動を起こしたが、13年度も前向きに行う。
- ③ 財政調整基金の運用では、残高が6億2000万円の水準に達する見込みなので、今後はこの水準を維持する努力と、基金を投入し事業を進める努力の、両にらみの姿勢で臨む。

結局は今後の課題として
いる様子でした。
頑張ってくださいね。

格差は年間11万円

医療費の違いに納得!

あのことの、

住民健診の成果

皆さんの住民健診。

この健診の目的は、個人が自己の健康管理や生活習慣病予防の目安のためですが、全体の利益につながる効果が明らかになりました。

3月に開催された若アフエスタのイベントで、日赤健康管理センターの小山所長は、私たち住民に、次のような研究報告を披露しています。

40歳以上の国保加入者1人あたりに要した年間医療費は205,399円。うち、健診を受けたグループの年間医療費は125,317円。これに対して検診を受けていない人のグループでは年間医療費が239,349円。11万円余りが、受けているグループと、受けていないグループに差がついたこと。

またこの差を、投薬、注射、処置の場合で見ると、入院外で月額6,454円、入院では65,024円の格差があった。健診を受けているグループでは1人当たりの年間医療費が安く、特に高額な入院医療費の抑制に効果が認められたこと。

注 研究は甲佐町の国民健康保険の加入者を、A住民健診を受けている人B受けていない人に、グループ化して医療費の違いを検討された。

この研究結果には、納得ですね。

3月21日の最終日、町長は議会選出監査委員の選任同意を議会に求める議案を提出しました。

議会選出

後任は

田上益男さん



理由は、前任の北林誠楠議員の後任を決めるもの。町長が後任に選んだのは田上益男議員。選んだ理由は、行政の各分野に精通し、人柄も温厚・誠実にして清廉潔白な性格で、監査委員にふさわしいと説明しました。

議会は満場一致で町長の提案に同意しました。議会としては、田上益男さんに、もう1人の監査委員である福永和彦さん(和田内)と共に、まちの行政や会計の監視を委ねる意思を決定したことになります。

横田。昭和11年生まれ。夫人の君代さん、母親のヨシ子さんの3人暮らし。

二人体制の監査委員のうち、議会選出の監査委員が交替されました。

共に頑張りたい

現職の

代表監査委員 福永和彦



新任の田上さんは申し分のない適任者であり、新鮮な視点を投入いただくことで刺激が高まり、監査業務が更に充実するよう、私も更に頑張ります。

私のパートナーが変わられた。これまでの2年間は前任の北林誠楠議員であり、北林さんの豊富な知識と経験で私も随分助けられたものです。

和田内。昭和11年生まれ。夫人の蘭子さんと、母親の愛子さんの、3人暮らし。

利用は

9月から

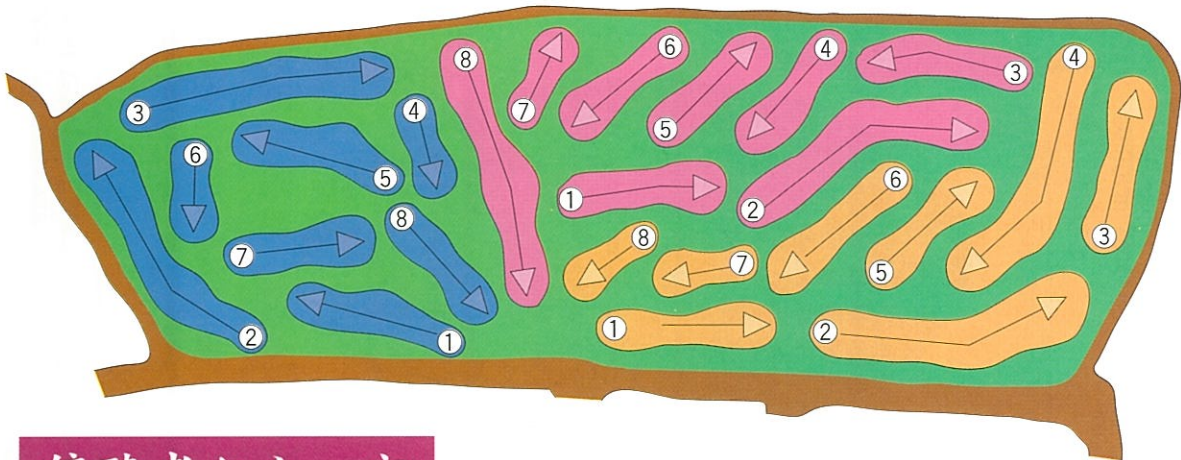


安津橋健康広場の

8ホール×3コース

グラウンドゴルフ場

安津橋下流のグラウンドゴルフ場の工事が終わり、芝の活着や生育に必要な期間を置いた後、いよいよ9月からプレーが楽しめるようになります。



← 緑川

安津橋

傍聴者から一言



井戸江峡なの
せしかくの

何気なく気づかずに通り過ぎてしまう場所。たまたま吊り橋を渡ってみると、別世界にきたような、どこか穏やかな気持ちにさせてくれる雰囲気。

私の井戸江峡「感」です。

何か不足

春は、桜。夏は、川遊びとキャンプ。秋は、紅葉。冬は、雪景色。
この四季折々の楽しい変化を見せられる井戸江峡なのに…。
これだけの施設投資がしてあるのに…。何か、物足りない。

子どもを連れて菊陽と、大津の公園に行つて、その何かに気づきました。
木材を利用した「遊具」が不足している。

西原 鉄田ひとみ

春は、桜。夏は、川遊びとキャンプ。秋は、紅葉。冬は、雪景色。
この四季折々の楽しい変化を見せられる井戸江峡なのに…。
これだけの施設投資がしてあるのに…。何か、物足りない。
子どもを連れて菊陽と、大津の公園に行つて、その何かに気づきました。
木材を利用した「遊具」が不足している。

この工事のために、国土交通省と町がタイアップ。護岸工事やグラウンドの地盤作りは国土交通省が担当し、およそ6300万円を投入。
続いて町は、グラウンドの造成やコース造りにこれまで5200万円を投入しています。

利用料

3000円

暫定値

今後も管理棟や休憩室の設置に2700万円を更に投入する。町の投資総額はおよそ1億円。
8ホールのコースが3つあり、利用するには教育委員会での手続きと、1人当たり利用料3000円（暫定値）を納める必要があります。
この3000円は「日」計算ですから、弁当を持参して1日中楽しむことも可能でしょう。（なお、貸しクラブは1000円）